

今後の観光振興施策の展開について

(観光の高付加価値化による観光消費額の拡大)

1. 本県観光を取り巻く現状

(1) 政府の動向

観光立国推進基本計画（令和5年3月31日閣議決定）では、これまで以上に「質」や「地方」を重視した目標を設定。

基本的な方針

持続可能な観光地域づくり戦略

- 観光振興が地域社会・経済に好循環を生む仕組みづくりを推進する
- 観光産業の収益力・生産性を向上させ、従事者の待遇改善につなげる
- 地域住民の理解も得ながら、地域の自然、文化の保全と観光を両立させる

インバウンド回復戦略

- 消費額5兆円の早期達成に向けて、施策を総動員する
- 消費額拡大・地方誘客促進を重視する
- アウトバウンド復活との相乗効果を目指す

国内交流拡大戦略

- 国内旅行の実施率向上、滞在長期化を目指す
- 旅行需要の平準化と関係人口の拡大につながる新たな交流需要の開拓を図る

目標

■ 早期達成を目指す目標：インバウンド消費5兆円、国内旅行消費20兆円

■ 2025年目標（質の向上を強調し、人数に依存しない指標を中心に設定）

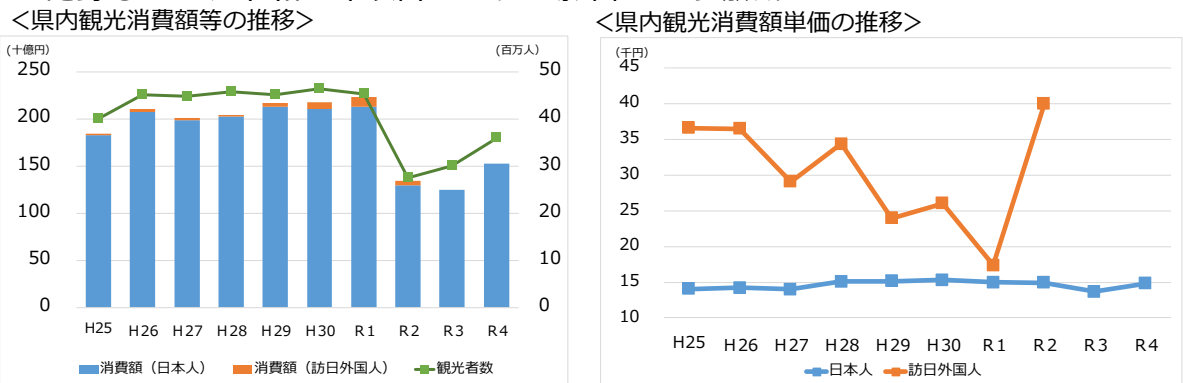
① 持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数【新】	100地域
② 訪日外国人旅行消費額単価【新】	20万円/人
③ 訪日外国人旅行者一人当たり地方部宿泊数【新】	2泊
④ 訪日外国人旅行者数	2019年水準超え
⑤ 日本人の海外旅行者数	アジア最大・3割以上
⑦ 日本人の地方部延べ宿泊者数	3.2億人泊
⑧ 国内旅行消費額	22兆円

主な施策

- 観光地・観光産業の再生・高付加価値化
- 観光DX、観光人材の育成・確保
- 持続可能な観光地域づくりのための体制整備等
- コンテンツ整備、受入環境整備
- 高付加価値なインバウンドの誘致
- アウトバウンド・国際相互交流の促進
- 国内需要喚起
- ワーケーション、第2のふるさとづくり
- 国内旅行需要の平準化

(2) 観光消費額（総額・単価）の推移

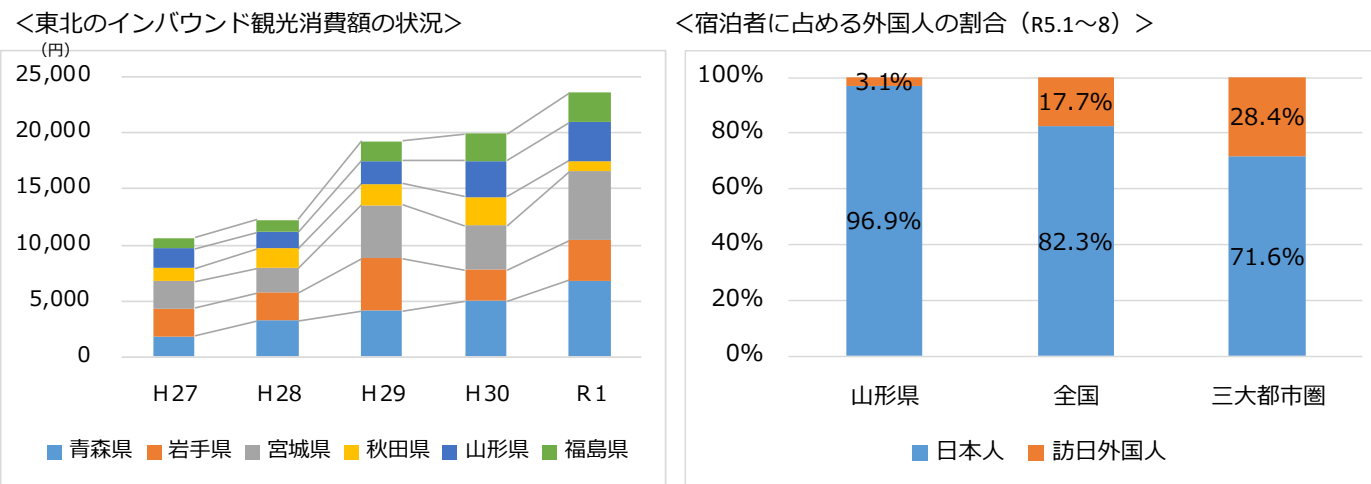
本県の観光消費額総額は、日本人・訪日外国人のいずれも令和元年に最高値を記録したが、令和2年以降コロナの影響により激減。



(出典) 県観光者数調査 ※消費額は暦年、観光者数は年度
(出典) 県観光者数調査 ※R3～R4の訪日外国人はデータなし

(3) インバウンドに係る状況

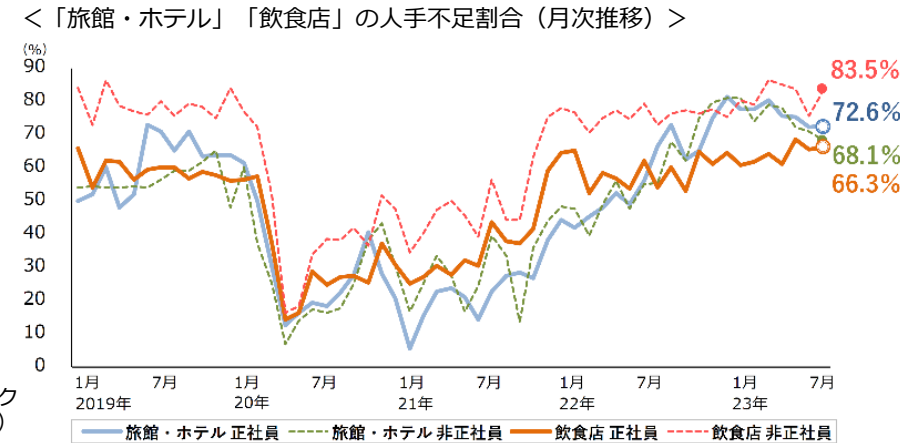
東北のインバウンド観光消費額は、コロナ前の5年間で2倍以上に増加。 その一方で、本県の宿泊者全体における外国人の割合は、全国や三大都市圏と比べ低い状況。



(出典) 観光庁「共通基準による観光入込客統計」※外国人旅行者（観光目的・宿泊）
(出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」（R5.1～8）速報値 ※三大都市圏は、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県の合計

(4) 観光産業における人手不足の状況

民間調査会社による人手不足に対する業種別の全国調査では、「旅館・ホテル」の人手不足割合は正社員で72.6%と、情報サービス（74.0%）に次いで高く、非正社員でも68.1%と、飲食店（83.5%）に次いで高い状況にある。

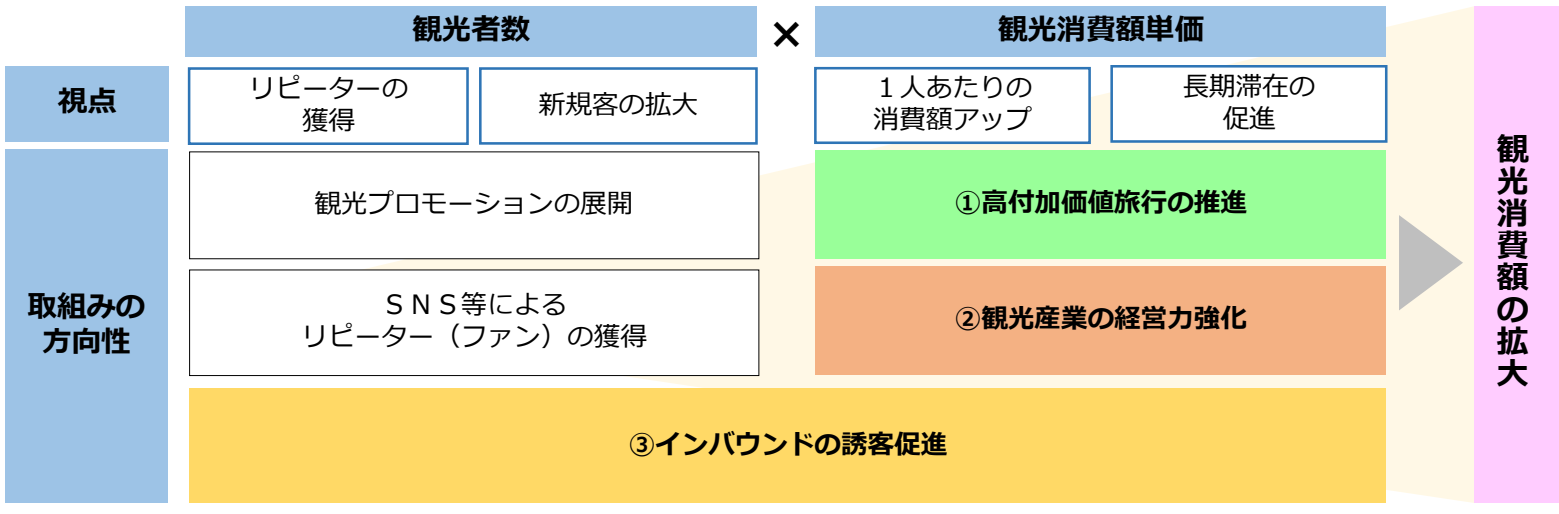


(出典) 帝国データバンク「人手不足に対する企業の動向調査」（2023年7月）

2. 現状を踏まえた施策展開の考え方

○本県観光産業における収益力を高め、持続可能な観光を実現するためには、「観光者数の増」に加え、より高所得な（高付加価値なものを求める）客層を本県に取り込むなど、「観光消費額単価の上昇」に向けた取組みを、国内・国外ともに行うことが重要。

○そのため、本県の強みを最大限に活用したコンテンツ造成をはじめとした①「高付加価値旅行の推進」や、観光DXの推進や人手不足解消など②「観光産業の経営力強化」に取り組む。併せて、消費単価の高い③「インバウンドの誘客促進」に向けた取組みを強化し、全体としての観光消費額の拡大を図っていく。



3. 施策展開の方向性

高付加価値旅行の推進

- **高所得者層に響く、滞在型の高付加価値コンテンツづくり**
 - ・高所得者層の旺盛な知的好奇心を満たす自然体験、日本文化・伝統文化体験を取り込んだ、新たな観光コンテンツづくりの推進
 - ・「学び」や「地域との交流」などを組み合わせた、「1泊ではもったいない」と思わせる観光プログラムの開発
- **本県が多様な観光資源を活用した誘客の促進**
 - ・本格デビューを果たした「やまがた紅王」や令和7年の「さくらんぼ栽培150周年」などを契機に、さくらんぼのブランド力を活かした誘客を推進
 - ・県内外の人々を惹きつける本県の魅力的かつ豊富な山岳資源を活用し、幅広い方々に訴求する観光を推進するため、四季折々の山の楽しみ方をデジタルパンフレット等で情報発信
 - ・本県が世界に誇る食文化の一つである「ラーメン」と「そば」を市町村と連携して情報発信すること等により、国内外からの観光誘客を促進
- **多様化する旅行ニーズに応じた観光誘客の展開**
 - ・貸切バスやタクシーを利用した着地型オプションツアーや旅行者ニーズに合わせた手配型商品等に対して助成
 - ・令和6年4月から6月の3ヶ月間、「心ほどけるやまがた」をキャッチコピーに、山形県全域を対象エリアとした「山形県春の観光キャンペーン」を、JR東日本と連携して開催



観光産業の経営力強化

- **観光産業の高付加価値化・観光DXの推進**
 - ・デジタルツール導入による業務効率化や、予約管理システム導入による人員配置の最適化など、観光DXを通じた経営効率化の推進
 - ・宿泊単価アップや経費削減など、収益力の向上（高付加価値化）を図る取組みへの支援の継続
- **人手不足への対応**
 - ・観光産業における労働環境の改善や多様な働き方を促すための仕組みの構築
 - ・外国人材の活用を希望する観光事業者と海外送り出し機関等とのマッチング機会の創出、海外インターンシップ受入の促進
- **データに基づく観光施策の展開**
 - ・東北観光DMPの活用による広域観光データの分析・活用の強化
 - ・GPS機能を活用したリアルタイムでの行動データ収集など、デジタル実装を伴う新たな切り口での誘客促進・マーケティング事業を展開
- **次世代を担う観光人材の育成**
 - ・観光カリスマ等をアドバイザーとして招聘し、モニターツアー等の実践活動を通してノウハウを集積し、人材のレベルアップを図りながら新たな観光地づくりを推進



インバウンドの誘客促進

- **高付加価値なインバウンド観光地づくりの推進**
 - ・付加価値の高い観光地づくりの推進や、本県の魅力発信の強化等により、国内外における高所得者（リッチ）層の観光誘客を推進
- **国際チャーター便の誘致、外航クルーズ船の寄港拡大**
 - ・国際チャーター便等による観光交流を拡大し、更なるインバウンドの増加につなげるため、海外の旅行会社との相互利用チャーター便を活用する旅行会社の旅行商品について、経費の一部を支援
 - ・インバウンド誘客促進のための県内空港へのチャーター便誘致、県内を周遊・宿泊する旅行商品の造成支援、外航クルーズ船の寄港拡大に向けたプロモーションの展開
- **県外空港等から入国する外国人旅行者の誘客促進**
 - ・海外現地観光コーディネーターによる現地情報の収集や本県観光情報の発信等を通じた重点市場（台湾、中国、香港、韓国、ASEAN）等からの誘客の推進
 - ・仙台空港を利用するインバウンドを県内に呼び込むため、仙台空港～山形便、仙台空港～庄内便を運行するバス事業者への運行経費の一部を支援するとともに、海外における広告展開等を実施



観光消費額の拡大を通じた、持続可能な観光地域づくりの実現